

## 【22\_244思考系メルマガ】「老後2000万円問題」から考える【投資】への考え方(後編)

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日は昨日のメルマガの続きで、「資本を増やすための投資」という考え方が大事である

という前提を踏まえての「資本量と投資」の話です。

昨日のメルマガの後半で、「自分の現在の生活レベルを切り詰める」意識で投資をしてはいけないという話をしました。

～～

たまたま、今日からメルマガを読み始めた人もいると思うので

特別に今日は昨日のメルマガのバックナンバーをつけておきますね。

まだ読んでない方は、先にこちらを読んでみてください。

▼昨日のメルマガ▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_mail\\_2022/220831BdT5w.pdf](https://kuro-gaki.com/muhai_mail_2022/220831BdT5w.pdf)

～～

これが一体どういう意味なのか、それをより具体的な例を出しながら言及していきます。

□  
└─ ■ 『コスパ』に対する考え方の差が『資本力』に繋がる  
└──────────────────

具体例を出す前に、まず結論を先にまとめておきますね。

「投資」に参加する『資本力』があるかどうかを測る一つの基準として

僕は「金銭量」ではなく『節約・コスパ』といったものに対してどんな考え方をするか？

が重要になります。

この考え方次第では、いくら貯金が2000万あろうが、投資に向かない人もいるし

一方で余剰資金が100万しかない人だとしても、投資に向かう素養がある、とも言えます。

では、一緒に考えていきましょう。

僕は、家事の中でも料理が(趣味に近いレベルで)好きなので、当然毎日のようにスーパーに買出しに行きます。

その時、当然食材に対して『コスパ』を意識しながら購入をしていくわけですが。。

このときに、『コスパを戦略的に考えられる人』と『義務感でコスパを考える人』とで

投資の向き・不向きが分かれると考えています。

、、、どうということかという

例えば普段100グラム200円の豚バラ肉があったとして

消費期限が迫っていて安くなっているときとかありますよね。

それを僕の場合は『まあ、“今日中に使っちゃう” からこれ買っちゃえ！ラッキー』って感じで

買ってしまいます。これが『戦略的コスパ』です。

一方で、同じような格安商品を「わざわざ求めるため」に、時間帯を意識してスーパーに行ったり

普段使いと違う遠いスーパーまで足を運ばなくてはならないと考える人が『義務感でコスパを考える人』です。

資金量にかかわらず、前者の考えを常に行動ベースで行える人は投資向き、後者の人は投資にむかう『資本』を持っているとはいえず、投資に向かない人です。

ただ、これは繰り返しお伝えしますが「資金がない＝資本がない」という事ではないのです。

要は、大事なのは『投資・資本というものに対する考え方』です。

つまり、冒頭でも言った『資本を増やすために投資を行う』という目的意識が重要とも言い換えられますね。

つまり、自分が自由に使える所得の増加分に対して『投資』を行う事。

これが一般的に言われる『余剰資金での投資』なのですが、この言い回しだと

「義務感的コスパ」から『戦略的コスパ』に切り替える、という発想の転換が抜けているように、僕は感じられます。

ここで、もう少しこのメルマガの趣旨に近づけて、『投機(トレード)』という考えに寄せていこうと思います。

FXに取り組み始めたキッカケを聞くと、意外とハッキリ答えられない人が多いです。

それはなぜなのか、僕は割と理解できるのですが(笑)

それは「ラクに稼ぎたいから」という本音をなかなか人に打ち明けにくいからです。

ですが、これまでの話を読んでもらったうえでこの考えに行きつく人は、結構『投資』という行為に向いていると、個人的には思っています。

なぜなら、『投資』という行為自体が『資本を増やす(＝カネを稼ぐ)』ことを目的としているわけなので

その手段として『トレード技術が身に付けば、労働に比べてもっと効率的に稼げる』という考えは、決して間違いではないからです。

これが逆に、「今」の極貧生活からいち早く脱したいから」といった、「義務感のコスパ」に近い考え方でトレードに参入しても

おそらく望む結果は得られないでしょう。

それなら、今の状況を改善するために仕事の仕方を替えて、『資本力』を少しでも高める努力をするのが先決です。

僕が、「1万円を一早く100万円に…」という意見に否定的なスタンスなのは

以上の考え方が根底にあるからです。

今、トレード技術を身につけようとこのメルマガを一生懸命読んで『資本力』を磨いている皆さんに対して

より「投資」へのポジティブな思考回路を得るヒントになれば幸いです。